(財)財務会計基準機構会員

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名　株式会社 ナック　　上場取引所　東
コード番号　9788　URL　http://www.nacoo.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）寺岡 豊彦
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役　（氏名）黒木 一孝　TEL 03-3346-2111
四半期報告書提出予定日　平成21年2月13日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	32,307	—	552	—	554	—	△482	—
20年3月期第3四半期	31,358	13.1	758	△52.2	778	△52.3	△172	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△58.55	—
20年3月期第3四半期	△20.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	19,638	7,000	35.6	861.36
20年3月期	16,358	7,901	48.3	957.20

（参考）自己資本　21年3月期第3四半期 7,000百万円　20年3月期 7,901百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
21年3月期	—	18.00	—	―――	―――
21年3月期（予想）	―――	―――	―――	21.00	39.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	7.9	1,780	19.6	1,780	15.0	380	283.8	46.03

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　有
　新規　— 社（社名　　）　除外　2 社（社名 タマキューホーム（株）・（株）ダスキン境　　）
　（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有
　（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
　① 会計基準等の改正に伴う変更　有
　② ①以外の変更　無
　（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）
　① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第3四半期 9,359,625株　20年3月期 9,359,625株
　② 期末自己株式数　21年3月期第3四半期 1,231,849株　20年3月期 1,104,394株
　③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第3四半期 8,243,737株　20年3月期第3四半期 8,549,679株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
1. 本資料に記載されている業績予想については、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいて作成しておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。業績予想に関連する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における国内経済は、米国金融危機に端を発する世界的な景気後退懸念のなか、輸出産業をはじめとする企業業績が急激に悪化し、また、株価の大幅下落、雇用・所得情勢の低迷による先行き不安から、個人消費マインドの冷え込みが強まるなど、一段と厳しい状況で推移しました。
このような状況のもと、当社グループでは営業体制の強化を図るとともに、業務改革を推し進め、経営体質の強化に注力してまいりました。
当第3四半期累計期間の連結業績は、ボトルウォーター事業の伸長と住宅事業における出店効果により、売上高32,307百万円（前年同期比3.0％増）となりましたが、利益面につきましては、採算性の高い建築コンサルティング事業の低迷が主因となり、営業利益552百万円（同27.2％減）、経常利益554百万円（同28.8％減）、四半期純損失482百万円（前年同期純損失172百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績概況は以下の通りであります。

（レンタル事業）
主力のダストコントロール商品は、景気後退の影響もあり前年同期を下回りましたが、害虫駆除関連商品が伸長し、売上高8,655百万円（前年同期比0.3％増）となりました。
利益面においては、営業体制のスリム化、業務効率の改善による諸経費の低減効果が大きく寄与し、営業利益1,511百万円（同37.4％増）となりました。

（建築コンサルティング事業）
建設不況の影響を受け、工務店向けノウハウ商品販売が低調に推移し、売上高2,526百万円（前年同期比25.9％減）営業利益743百万円（同44.1％減）となりました。

（住宅事業）
新規出店効果により、売上高は16,569百万円（前年同期比10.2％増）となりましたが、市況の冷え込みに加え、新住宅ローン減税期待による、完成・引渡し時期の先送り傾向などもあり、予定引渡し棟数を若干下回りました。
損益面では、出店に係る先行投資負担により、営業損失1,085百万円（前年同期営業損失1,455百万円）となりましたが、各店舗の売上規模に対応した人員体制の適正化と固定費の圧縮により、赤字幅は縮小しました。
なお、当第3四半期累計期間に8店舗の出店を行い、総店舗数は33店舗となりました。

（ボトルウォーター事業）
顧客数の着実な増加により、売上高は4,628百万円（前年同期比7.5％増）となりました。営業人員の増強、販売促進活動の拡大並びに住之江・仙台工場の開設等により、人件費・経費が増加した結果、営業利益は23百万円（同94.0％減）となりましたが、ほぼ計画に沿った進捗状況にあります。

なお、文中の前年同期比増減率及び前年同期の金額は、参考として記載しております。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（１）資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期末の総資産は、たな卸資産の増加、ボトルウォーター事業及び住宅事業の土地取得並びに設備投資等による有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ3,279百万円増加し19,638百万円になりました。
負債総額は、法人税の支払による未払法人税等の減少がありましたが、住宅事業における未成工事受入金とボトルウォーター事業及び住宅事業の土地取得等の設備投資に伴う借入金の増加により前連結会計年度末に比べ4,180百万円増加し、12,637百万円となりました。
純資産は、配当金の支払、四半期純損失等により前連結会計年度末に比べ900百万円減少し7,000百万円となり、また自己資本比率は35.6%となっております。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金という」）残高は、前期連結会計年度末に比べ976百万円増加し3,586百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動により得た資金は、811百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加1,617百万円、法人税の支払1,482百万円等による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益439百万円に加え、売上債権の減少370百万円、未成工事受入金の増加2,592百万円等により資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動により使用した資金は、1,669百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得1,702百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動により得た資金は、1,834百万円となりました。これは主に、配当金の支払313百万円等がありましたが、長・短期借入金が2,426百万円増加したことによるものであります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年11月6日に公表いたしました内容から変更はありません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
住宅事業の競争力強化とグループ経営の効率化をはかるため、平成20年４月１日付にて、連結子会社である(株)レオハウスとタマキューホーム(株)は、合併いたしました。(株)レオハウスが存続会社となり、タマキューホーム(株)は解散いたしました。
また、レンタル事業においても、業務の効率化を図るため、当社が、平成20年10月１日付にて連結子会社である(株)ダスキン境を吸収合併し、同社は解散いたしました。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
1. 固定資産の減価償却の算定方法は、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。
なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 一般債権の貸倒見積高の算定方法は、貸倒実績率等が前連結会計期間に算定したものと著しい変化が無いため、前連結会計期間に算定した貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。
3. 棚卸資産の評価方法に関しては、棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。
4. 法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、重要な企業結合や事業分離、業績の著しい好転又は悪化、その他経営環境に著しい変化が生じ、又は、一時差異等の発生状況について前年度末から大幅な変動があると認められる場合には、繰延税金資産の回収可能性の判断にあたり、財務諸表利用者の判断を誤らせない範囲において、前年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、当該著しい変化又は大幅な変動による影響を加味したものを使用しております。
5. 経過勘定項目の算定方法は、固定的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額を計上しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,649,792	2,673,477
受取手形及び売掛金	937,096	1,307,742
商品及び製品	680,819	767,992
仕掛品	2,655,641	963,737
原材料及び貯蔵品	58,426	46,156
その他	1,573,320	1,640,297
貸倒引当金	△4,882	△6,499
流動資産合計	9,550,214	7,392,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,492,290	2,831,170
土地	3,068,871	2,406,946
その他（純額）	197,014	293,918
有形固定資産合計	6,758,176	5,532,035
無形固定資産		
のれん	112,524	171,929
その他	100,214	70,998
無形固定資産合計	212,738	242,928
投資その他の資産		
差入保証金	2,170,170	2,339,148
その他	1,120,975	1,064,524
貸倒引当金	△174,164	△213,070
投資その他の資産合計	3,116,981	3,190,601
固定資産合計	10,087,896	8,965,564
資産合計	19,638,111	16,358,468

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,342,823	2,046,206
未成工事受入金	3,888,651	1,296,468
短期借入金	1,796,800	628,300
未払法人税等	12,840	865,910
賞与引当金	336,516	651,916
引当金	146,936	28,497
その他	1,832,221	1,749,782
流動負債合計	10,356,790	7,267,083
固定負債		
長期借入金	2,211,500	1,131,100
その他	68,904	58,377
固定負債合計	2,280,404	1,189,477
負債合計	12,637,195	8,456,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	794,220	794,220
利益剰余金	5,221,234	6,017,636
自己株式	△1,660,987	△1,560,723
株主資本合計	8,354,466	9,251,133
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,577	9,902
土地再評価差額金	△1,359,128	△1,359,128
評価・換算差額等合計	△1,353,550	△1,349,225
純資産合計	7,000,916	7,901,908
負債純資産合計	19,638,111	16,358,468

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
売上高	32,307,868
売上原価	19,237,964
売上総利益	13,069,903
販売費及び一般管理費	12,517,449
営業利益	552,454
営業外収益	
受取利息	4,925
受取配当金	7,896
受取地代家賃	9,789
受取手数料	16,449
その他	28,554
営業外収益合計	67,615
営業外費用	
支払利息	43,644
減価償却費	11,354
その他	10,349
営業外費用合計	65,348
経常利益	554,721
特別利益	
営業権譲渡益	6,000
特別利益合計	6,000
特別損失	
固定資産処分損	21,034
減損損失	86,281
その他	14,208
特別損失合計	121,523
税金等調整前四半期純利益	439,198
法人税、住民税及び事業税	575,963
法人税等調整額	345,942
法人税等合計	921,905
四半期純損失（△）	△482,707

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	439,198
減価償却費	314,230
減損損失	86,281
のれん償却額	59,405
固定資産処分損益（△は益）	21,034
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△40,523
賞与引当金の増減額（△は減少）	△315,400
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	18,900
引当金の増減額（△は減少）	99,539
受取利息及び受取配当金	△12,822
支払利息	43,644
売上債権の増減額（△は増加）	370,646
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△16,849
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,617,001
仕入債務の増減額（△は減少）	296,617
未成工事受入金の増減額（△は減少）	2,592,183
未払消費税等の増減額（△は減少）	△159,898
その他	146,426
小計	2,325,610
利息及び配当金の受取額	12,854
利息の支払額	△44,544
法人税等の支払額	△1,482,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	811,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△15,101
定期預金の払戻による収入	15,401
有形固定資産の取得による支出	△1,702,325
有形固定資産の売却による収入	38,309
無形固定資産の取得による支出	△21,216
投資有価証券の取得による支出	△99,922
貸付金の回収による収入	2,294
差入保証金の差入による支出	△158,285
敷金及び保証金の回収による収入	288,375
その他	△17,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,669,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,086,900
長期借入れによる収入	1,340,000
長期借入金の返済による支出	△178,000
自己株式の取得による支出	△100,263
配当金の支払額	△313,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,834,868
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	976,615
現金及び現金同等物の期首残高	2,609,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,586,089

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）

（単位：千円）

	レンタル事業	建築コンサルティング事業	住宅事業	ボトルウォーター事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	8,583,455	2,526,443	16,569,779	4,628,189	32,307,868	－	32,307,868
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	71,763	－	－	487	72,251	△ 72,251	－
計	8,655,219	2,526,443	16,569,779	4,628,676	32,380,119	△ 72,251	32,307,868
営業利益又は営業損失（△）	1,511,369	743,370	△ 1,085,306	23,241	1,192,674	△ 640,220	552,454

（注）１．事業区分の方法
事業は製品の種類及び市場の類似性を考慮して区分しております。
２．各区分に属する主要な商品及び役務
レンタル事業……ダストコントロール商品
建築コンサルティング事業……建築関連ノウハウ商品及びコンサルティング業務
住宅事業……注文住宅の建築請負
ボトルウォーター事業……ボトルウォーター（ミネラルウォーター）

〔所在地別セグメント情報〕
当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕
当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）
海外売上高がないため該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

（１）（要約）四半期連結損益計算書

（単位：千円）

科目	前第３四半期連結累計期間 （自 平成19年４月１日 至 平成19年12月31日） 金　額
Ⅰ　売上高	31,358,769
Ⅱ　売上原価	17,784,467
売上総利益	13,574,302
Ⅲ　販売費及び一般管理費	12,815,343
営業利益	758,959
Ⅳ　営業外収益	94,076
Ⅴ　営業外費用	74,376
経常利益	778,659
Ⅵ　特別利益	14,725
Ⅶ　特別損失	152,342
税金等調整前四半期純利益	641,041
税金費用	813,785
四半期純損失（△）	△172,743

（２）（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成19年４月１日 至 平成19年12月31日）
区分	金　　額
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	641,041
減価償却費	256,112
のれん償却額	67,852
賞与引当金の増減額	△184,842
売上債権の増減額	234,423
たな卸資産の増減額	△1,848,700
仕入債務の増減額	479,181
未成工事受入金の増減額	1,450,235
その他	101,770
小計	1,197,072
利息及び配当金の受取額	15,143
利息の支払額	△30,331
法人税等の支払額	△1,337,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	△155,263
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,185,164
無形固定資産の取得による支出	△7,506
保証金の返還による収入	19,804
保証金の差入による支出	△239,144
その他	△7,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,419,118
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	313,800
長期借入による収入	800,000
長期借入金の返済による支出	△107,700
自己株式の取得による支出	△75,066
配当金の支払額	△393,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	537,746
Ⅳ　現金及び現金同等物の増減額	△1,036,635
Ⅴ　現金及び現金同等物の期首残高	3,424,925
Ⅵ　現金及び現金同等物の四半期末残高	2,388,290

（３）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間　（自　平成19年４月１日　至　平成19年12月31日）

（単位：千円）

	レンタル事業	建築コンサルティング事業	住宅事業	ボトルウォーター事業	計	消去又は全社	合計
売　上　高	8,632,133	3,408,700	15,038,960	4,305,694	31,385,488	△26,719	31,358,769
営業費用	7,531,932	2,077,744	16,494,676	3,918,877	30,023,231	576,579	30,599,810
営業利益又は営業損失(△)	1,100,201	1,330,955	△1,455,715	386,816	1,362,257	△603,298	758,959

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間　（自　平成19年４月１日　至　平成19年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第３四半期連結累計期間　（自　平成19年４月１日　至　平成19年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

６．その他の情報

受注の状況

事業の種類別セグメントの名称	受注高（千円）		受注残高（千円）	
	当第3四半期 平成20年4月１日 ～ 平成20年12月31日	前第3四半期 平成19年4月１日 ～ 平成19年12月31日	当第3四半期 平成20年12月31日 現在	前第3四半期 平成19年12月31日 現在
住宅事業	19,632,482	18,848,765	14,310,633	15,880,016